

ビジネスジェット専用施設に係る提言について

弊社では、今後の空港容量の拡大に合わせて、LCCやビジネスジェットも含めた多様な航空ニーズに対応できるマルチ・ファンクション・エアポートの実現を目指しております。その一環として、昨年5月の国土交通省成長戦略会議の報告書において「成田空港については、更なる国際航空ネットワークの強化や国内フィーダー路線の拡充とともに、専用ターミナルの整備等により、首都圏を代表するビジネスジェットの受入空港としての抜本的機能強化を図る。」という提言がなされたことを受けて、ビジネスジェット専用施設の取り扱いについて検討を進めてまいりました。この検討を踏まえ、国土交通省が主催する「ビジネスジェットの推進に関する委員会」(「BJ委員会」)において、本日、弊社として、以下の提言を行いました。

- 成田空港においてCIQ施設を備えたビジネスジェット専用施設の整備を本格的に検討。
- 整備場所は、日本航空(株)が再建計画の一環として、同社より返却される南オペレーションセンターの一部である1階部分を活用。

弊社の提言につきましては、引き続き、BJ委員会においてご議論いただき、今春には結論をお示しいただけるものと考えておりますが、弊社といたしましては、今後とも、国土交通省等の関係者と協議を進め、ビジネスジェット利用者の利便性向上に向けた対策を実施し、我が国の成長に貢献してまいりたいと考えております。

